

八丈島 水産だより

12月号

2014



ツワブキ



アロエと大越鼻灯台

12月に入り、各地の華やかなイルミネーションがニュースになっています。八丈島でも、色とりどりのクリスマスイルミネーションを見かけるようになりました。なかには10月から飾りは始めている家までありました。

島の北西側の永郷地区にある、大越鼻灯台近くのアロエ園では、キダチアロエの花が咲きはじめました。キダチアロエの花は空港前の道路など、島内のあちこちでも見られます。ツワブキやキダチアロエの花が咲くと冬の訪れを感じます。

■ ムロアジの漁模様

8月からはじまったムロアジ（クサヤモロ）の棒受け網漁ですが、台風などで海が荒れる日が多く、漁に出られる日が少なかったため、漁獲量は例年に比べてやや少なくなっています。

冬になり、風が強くと海が荒れることが多くなりますが、今月末まで漁は続きます。



操業のようす



棒受け網漁



クサヤモロ

■ 八丈町町制施行60周年



前進太鼓



昭和30年（1955年）4月1日に八丈村・大賀郷村・宇津木村が合併して「八丈町」が誕生し、今年で60周年となりました。これを記念して様々な催しが行われています。11月1日には記念式典が行われ、「町歌」の最終選考や中学3年生によるこども議会も開かれました。

また、今年はハワイ・マウイ郡姉妹都市提携50周年でもあり、夏には子供の和太鼓チーム「前進太鼓」が交流のため来島、エネルギーですばらしい演奏を聴かせてくれました。